

【協議】犬山市地域公共交通計画の一部修正について

【目的】

わん丸君バス車両の耐用年数経過に伴う買い替えにあたり、国庫補助金の活用を検討している。補助金の交付要件として、地域公共交通計画での記載が必要であることから、計画内に補助金活用に関する記載を追記する。

【修正箇所】

犬山市地域公共交通計画 54 ページ

「表 市内の移動サービスの位置づけと役割」

位置付け	対象路線	路線の役割	確保・維持策
広域幹線	名鉄犬山線 名鉄広見線 名鉄小牧線 東鉄バス	都市間を結ぶ広域的な移動を担う	- 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する - 関係市町や犬山市が共同で利用促進を図る
観光交流路線	岐阜バス 明治村線 リトルワールド・モンキーパーク線 名鉄バス (紅葉ルートバス)	市中心部や拠点と主要観光施設間の移動を担う	- 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する - 交通事業者と観光施設、市が連携して利用促進を図る
生活交流路線	わん丸君バス 楽田西部線 入鹿・羽黒線 朝便栗栖線 朝便今井線	住宅団地と市中心部・主要施設間の移動を担う	- 市が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する - 市が利用促進を図る
	わん丸君バス 楽田東部線 善師野・塔野地線 内田線 栗栖・富岡線 上野線 今井・前原線		- 市が主体となって需要に応じた運行水準を確保する必要があるが、事業者及び市の運営努力だけでは路線の維持が困難であり、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用が必要である。 - 安全運行のため耐用年数が経過した車両については、地域公共交通確保維持事業（車両減価償却等国庫補助金）等補助金を活用して買い替えを行う。 - 市が利用促進を図る
個別輸送	タクシー 福祉輸送	他の公共交通でカバーできない部分の移動を担う	- 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する - 交通事業者と市が連携して利用促進を図る

※今回の追記については、目標等計画の根幹に関わる内容ではなく、また、早期に修正を要することから、パブリックコメント等広く意見を聴取することは省略します。